



さろまげんき王国

保健福祉課保健推進係

☎2・1212

大人の風しん予防く次世代の子どもを守るために

以前の風しん予防対策は幼児や女性を中心とする対策でしたが、これから生まれる赤ちゃんを風しんから守るためには、働き盛り世代の男性を含めた風しん予防が重要です。

風しんの特徴

風しんは、風しんウイルスが咳やくしゃみによる飛沫(唾液のしぶき)などにより、人から人へ感染する急性の発疹性感染症で、発疹の出る1週間前から発疹が出たあと1週間くらいまで感染力があります。

主な症状は、「発熱」「ポツポツとした赤い発疹」「耳や首の後ろのリンパ節の腫れ」などで、子どもでは比較的症状は軽いですが、まれに脳炎や血小板減少性紫斑病といった合併症がみられます。

また、大人がかかると高熱や発疹が長引いたり、関節痛が出る頻度が高いとされています。感染しても症

状が出ない人が15〜30%程度いるとされ、知らない間に他の人に感染させる可能性があり、特に問題になるのは、妊婦さんに感染する事です。

妊婦が感染すると...

妊娠20週頃までに風しんにかかると胎児が風しんに感染し、「難聴」「心疾患」「白内障」「その他心身の発達の遅れ」などの障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があり、これらの障がいを「先天性風しん症候群」と言います。【下図】

先天性風しん症候群にかかるリスクは特に妊娠初期で高く、予防するには妊娠する前にワクチンで免疫をつけておく事と、周りの人全体で風しんに対する免疫をつけておく事が重要です。

【図：先天性風しん症候群にみられる主な症状】

先天性の耳の病気
・難聴

低出生体重(小さく生まれる)
血小板減少性紫斑病 など



先天性の眼の病気
・白内障
・網膜症
・緑内障 など

先天性の心臓の病気
・動脈管開存症など

※政府広報オンラインより引用

風しんの流行

国内では平成24年から平成25年にかけて大きな流行がみられ、平成25年には約1万4300人以上の報告があり、そのうち男性が7割以上を占め、多くは働き盛りの年代でした。

また、職場で感染したと思われる男性から妻や子へ感染したと思われる症例もみられました。その後、報告数は減少しましたが、平成30年から増加傾向がみられ、流行に注意が必要な状況にあります。

成人男性の風しん予防対策

公的な予防接種を受ける機会が無かった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、風しんに対する免疫がある事を示す「抗体保有率」が80%程度と他の年代より低い状況です。そのため、令和元年度から3年間で対象世代の抗体保有率を90%以上に引き上げる事を目指し、無料で抗体検査と予防接種を受けられる体制が整いました。

風しん抗体検査と予防接種について

下記の対象者は、風しん抗体検査、定期予防接種を原則無料で受けられます。

◆**実施期間**：令和4年3月31日まで

◆**対象者**：昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

◆**助成方法**：対象者へ抗体検査、予防接種の『無料クーポン券』を送付します

▷令和元年度は昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に送付済みです
(クーポンの有効期間は切れていますが、今年度も使用できます)

▷今年度は昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性に送付済みです

無料クーポン券が届いた方であっても、下記に当てはまる場合は対象外です

- ・過去に風しん抗体検査等による確定診断を受けたことがあり、罹患記録がある方
- ・平成26年4月1日以降に受けた風しん抗体検査により、十分に抗体を保有し、記録のある方

クーポン券が届いたら…

医療機関等で抗体検査を受検(クーポン券、本人確認書類が必要です)
町が実施する総合健診(8月、1月)での検査も可能です



後日、抗体検査の結果を病院に取りに行く、または病院から届きます
(クリニックさろまの場合、クリニックまで取りに行きます)



抗体なし

- ・風しんへの抵抗力がありません
- ・風しんにかかるリスクがあります



抗体あり

- ・風しんへの抵抗力があります
- ・定期予防接種の対象となりません

予防接種を受けましょう ※医療機関へ予防接種の予約が必要です
(クーポン券、本人確認書類、抗体検査結果通知が必要です)

抗体検査・予防接種はクリニックさろまで実施できますが、実施可能な医療機関等や
「風しんの追加的対策」の詳しい情報は厚生労働省ホームページに掲載されています。

風しんの追加的対策

検 索



★風しん予防は、自分だけでなく家族、職場の仲間、生まれてくる赤ちゃんの健康を守ることに繋がります。該当する方は、役場から届いたお知らせをご確認ください。